

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 2 区分

【発行日】平成 26 年 7 月 3 日 (2014.7.3)

【公開番号】特開 2012-243899 (P2012-243899A)

【公開日】平成 24 年 12 月 10 日 (2012.12.10)

【年通号数】公開・登録公報 2012-052

【出願番号】特願 2011-111275 (P2011-111275)

【国際特許分類】

H 0 5 K 5/02 (2006.01)

G 0 3 B 17/02 (2006.01)

【F I】

H 0 5 K 5/02 V

G 0 3 B 17/02

【手続補正書】

【提出日】平成 26 年 5 月 15 日 (2014.5.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

以上の課題を解決するため、請求項 1 に記載の発明は、第 1 ブロックと、前記第 1 ブロックに回転可能に結合される第 2 ブロックと、前記第 1 ブロック及び第 2 ブロックを部分的に覆い、且つ前記第 1 ブロックに回転可能に結合される第 3 ブロックと、を備える筐体構造であって、前記第 2 ブロックの前記第 1 ブロックに対する回動については規制しないように、前記第 3 ブロックに対し前記第 2 ブロックを磁性体により保持可能とする保持部を備えることを特徴とする。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

第 1 ブロックと、  
前記第 1 ブロックに回転可能に結合される第 2 ブロックと、  
前記第 1 ブロック及び第 2 ブロックを部分的に覆い、且つ前記第 1 ブロックに回転可能に結合される第 3 ブロックと、を備える筐体構造であって、  
前記第 2 ブロックの前記第 1 ブロックに対する回動については規制しないように、前記第 3 ブロックに対し前記第 2 ブロックを磁性部材により保持可能とする保持部を備えることを特徴とする筐体構造。

【請求項 2】

前記第 1 ブロックに第 2 ブロックを回転可能に結合する第 1 ヒンジ部の回転軸線と、  
前記第 1 ブロックに第 3 ブロックを回転可能に結合する第 2 ヒンジ部の回転軸線とが互いに直交することを特徴とする請求項 1 に記載の筐体構造。

【請求項 3】

前記第 3 ブロックは、前記第 1 ブロック及び第 2 ブロックの周囲を覆うフレーム形状に形成されていることを特徴とする請求項 1 または 2 に記載の筐体構造。

## 【請求項 4】

前記保持部における前記磁性部材は、前記第 2 ブロックまたは第 3 ブロックの何れかに設けられ、前記磁性部材が対向する位置には、前記磁性部材の磁力により吸着する部材が設けられることを特徴とする請求項 1 から 3 のいずれか一項に記載の筐体構造。

## 【請求項 5】

請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載の筐体構造を備えることを特徴とする電子機器。

## 【請求項 6】

前記第 1 ブロックに撮影レンズが設けられて、

前記第 2 ブロックに表示部及びシャッターボタンが設けられていることを特徴とする請求項 5 に記載の電子機器。